

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成21年 2月26日(木)午後7時00分～午後8時40分		
会場	中河原分館	出席者数	18人 (男15・女3)
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)			
<p>別紙「平成21年度寒河江市の予算について」に基づいた市長講和の後に質疑応答を行った。</p> <p>< 質疑応答の主な要旨 ></p> <p>(男性)</p> <p>三泉小学校の入学者が平成21年度には寒河江学園を含んでも8名で少子化が進んでいる。天童市では小学校6年生まで医療費の無料化を実施するようであるが寒河江市でも同様にしていきたい。</p> <p>(市長)</p> <p>新年度からは就学前までの完全無料化を実施し、子育て家庭の経済的支援を拡大していく。</p> <p>県内では小学校6年生まで実施している自治体もあるが、段階的に拡大していきたいと考えている。県に対しても市長会の要望事項として年齢の引き上げをお願いしている。</p> <p>選挙公約実現のため、まずは出来る範囲内で実施し、今後の課題としている。</p> <p>(男性)</p> <p>本日の資料を見ますと、財政調整基金からの繰り入れが平成21年度から少なくなっているが、その内容はどうなっているのか。</p> <p>(市長)</p> <p>市の借金である公債費の額が減少することから予算を他の経費に充当可能となり、結果的に繰り入れが少なくなり健全な財政計画の樹立が可能となる。</p> <p>交付税措置や補助事業の取り組みにより繰り入れ額の減少に努めていく。</p> <p>(市長)</p> <p>今年度さくらんぼの作況、また紅秀峰の取り組みなどについてどうでしょうかと市長から質問した。</p> <p>(男性)</p> <p>ここ2年ほど不作が続いた。冬季間の積雪量が影響していると考えられる。今年度も暖冬により春の水分不足が心配されるが、ならせるさくらんぼ作りにさくらんぼ部会で対策を講じている。紅秀峰はここ2、3年で確立されると思</p>			

う。

(市長)

昨年、前市長が大阪でトップセールスを行ったが、仙台でも実施していきたい。

(女性)

最近、新聞に各市町村の平成21年度予算が報じられている。市長は企業で言えば社長である。利益を生むような事業への取り組みについてはどのように考えているか。

(市長)

企業的な事業としては、特別会計で実施している水道事業や病院事業があるが公営企業法により実施しており、公益的な事業であり利益のため実施するものではない。

県では、企業局で運営しているものがあるが市町村では難しい。

(男性)

三泉橋から国道112号へのスムーズなアクセス(びっくり市場前の拡幅)については数年前から町会長連合会、安全協会、さらには農業生産組合で要望しているなかなか実現されないのが早期実現に向けて対応していただきたい。

特に、さくらんぼの出荷時には混雑して大変苦労している。

(市長)

生活関連の道路整備については頑張っていきたい。実現されていない場合は優先順位の順番が繰り上がっていると理解していただきたい。引き続き地域の要望として受け止めさせていただきます。

(男性)

道路関連でもう1件お願いします。同じ県道寒河江村山線で地域内の拡幅工事についても沿線関係者の同意を得て要望しているので早期実現に向けて県へ働きかけをお願いしたい。

(市長)

市からも県へ要望を出しているが谷地(北)の方向に進んでいる。今後も要望していきますが、市の建設課で実情を調査して報告していきたい。

(男性)

地域の悩みとして、老人クラブ、子供育成会、婦人会などの団体が加入者の減などとともにまとまりがなくなっている。行政の方でも何らかの対策を講じていただきたい。

(市長)

まったくおっしゃるとおりであり、加入者がだんだん減ってきている現状である。地域の皆さんの結集が難しくなっている。皆さんの知恵やノウハウ

をお聞きしながらネットワーク化していくことが先決ではないかと考えている。

昔のようなことは難しいのではないかと。市としましても関係者が集まって検討しているところである。

(男性)

高齢者ふれあいサロンへの取り組みについて

(市長)

現在公民館分館などで実施している高齢者ふれあいサロンについては、箇所数を増やすなどして充実していきたい。また、男性の参加者が少ないともお聞きしているので、増加が図られるよう内容についても工夫していきたい。

後日に回答した事項等

1. 県道寒河江村山線の整備要望に対する現在の進捗状況と今後の見通しについて

主要地方道寒河江村山線の道路整備事業区間は、三泉地内から河北町国道287号まで約2.8kmとなっており、県では、現在第1期事業として県道日和田河原線交差点から河北町造山の槇川付近までの区間約1.4kmを平成19年度から平成23年度までの予定で事業実施しております。

県では、緊急度を勘案しながら第2期事業区間を決定する方針ですが、現在のところ第1期事業完了後は三泉地内の事業に着手したいと予定しているようです。

市では、県に対し引き続き三泉地内の事業早期着手を要望してまいりますが、事業実施の場合は、三泉地区沿線の皆様方の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。